

2018年（平成30年）2月期 第1四半期 決算説明資料

古野電気株式会社

開示：2017年7月10日（月）

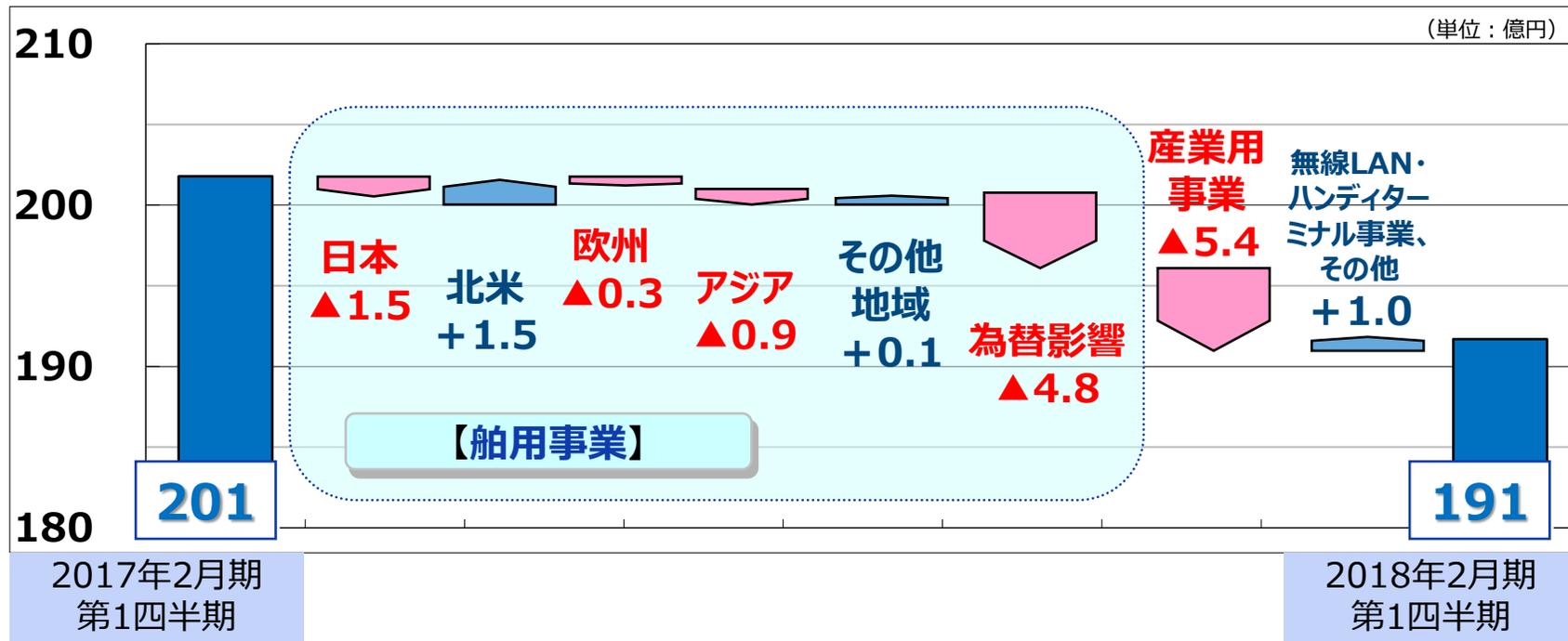


注意事項：

本資料に記載されている内容は、公表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣による将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのためさまざまな要素により、記載された見通しと異なる結果となり得ることをご承知おきください。

なお、当資料の数値表記は、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表に記載の金額は、表示単位未満を切り捨てて表示し、比率その他の数値は、四捨五入により表示しております。

(単位：百万円)	2017年2月期 第1四半期	2018年2月期 第1四半期	増減比（額）	増減比（率）
売上高	20,178	19,169	▲1,009	▲5.0%
売上総利益 (対売上高比率)	7,125 35.3%	6,669 34.8%	▲456 ▲0.5	▲6.4%
営業利益 (対売上高比率)	894 4.4%	444 2.3%	▲450 ▲2.1	▲50.3%
経常利益 (対売上高比率)	670 3.3%	249 1.3%	▲421 ▲2.0	▲62.7%
親会社株主に帰属 する四半期純利益 (対売上高比率)	491 2.4%	101 0.5%	▲390 ▲1.9	▲79.3%
研究開発費 (対売上高比率)	943 4.7%	956 5.0%	+13 +0.3	+1.4%
設備投資額 (対売上高比率)	744 3.7%	924 4.8%	+180 +1.1	+24.2%
減価償却費 (対売上高比率)	629 3.1%	754 3.9%	+125 +0.8	+19.9%
(単位：円、期中平均レート)				
為替（対ドル）	119	114	▲6	▲4.7%
為替（対ユーロ）	129	121	▲8	▲6.3%



◆ 船用事業 ▲5.7億円

- 為替影響 ▲4.8億円
- 日本・アジア：商船市場向けで減収
- 北米：漁業市場向けで増収に転じる
- 欧州：漁業市場向けで減収拡大

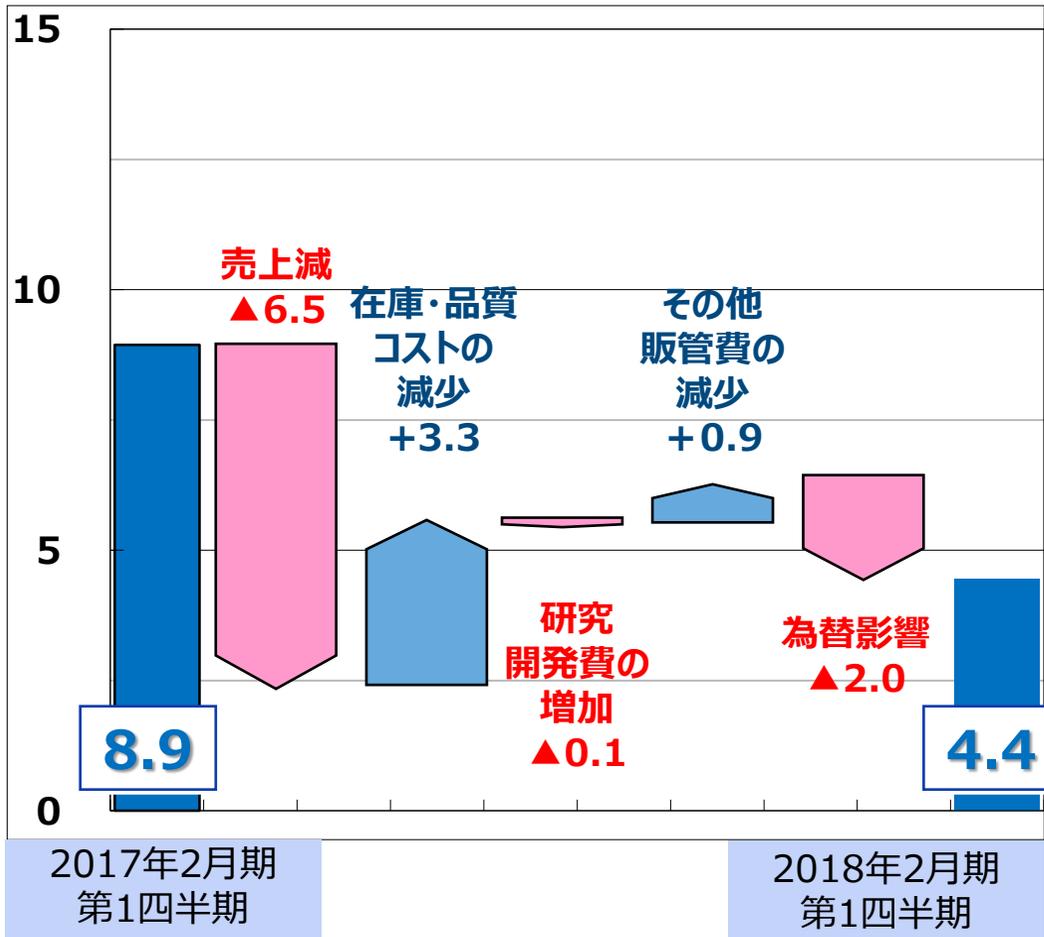
◆ 産業用事業 ▲5.4億円

- 各事業で減収
- ◆ 無線LAN・ハンディターミナル事業 +0.9億円
 - 無線LANアクセスポイントが好調

※ 為替感応度 (2017年2月期実績値)
 【ドル】売上高1.3億円、営業利益0.5億円
 【ユーロ】売上高1.3億円、営業利益0.5億円

営業利益の増減分析

(単位：億円)



◆ 営業利益 ▲4.5億円

【改善】 +4.1億円

【悪化】 ▲8.6億円

◆ 経常利益 ▲4.2億円

営業外収益 ▲0.7億円

営業外費用 ▲1.1億円

▶ 前期：為替差損 3.7億円

▶ 今期：為替差損 2.4億円

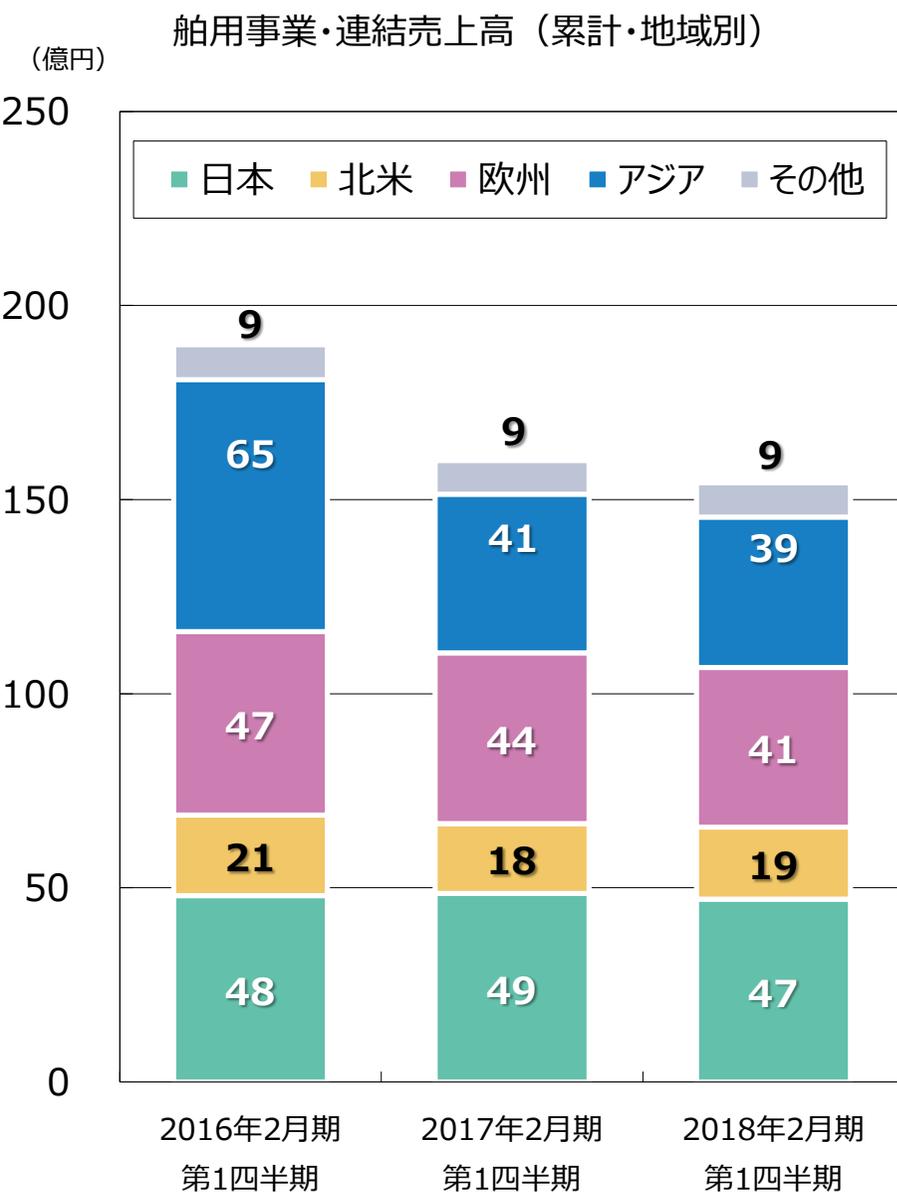
◆ 四半期純利益 ▲3.9億円

特別利益 +0.4億円

▶ 今期：投資有証売却益 0.5億円

特別損失 ▲0.1億円

▶ 前期：減損損失 0.1億円



船用事業：減収減益

売上高 154億円（前年同期比 ▲3.6%）

セグメント利益 1.8億円（▲2.9億円）

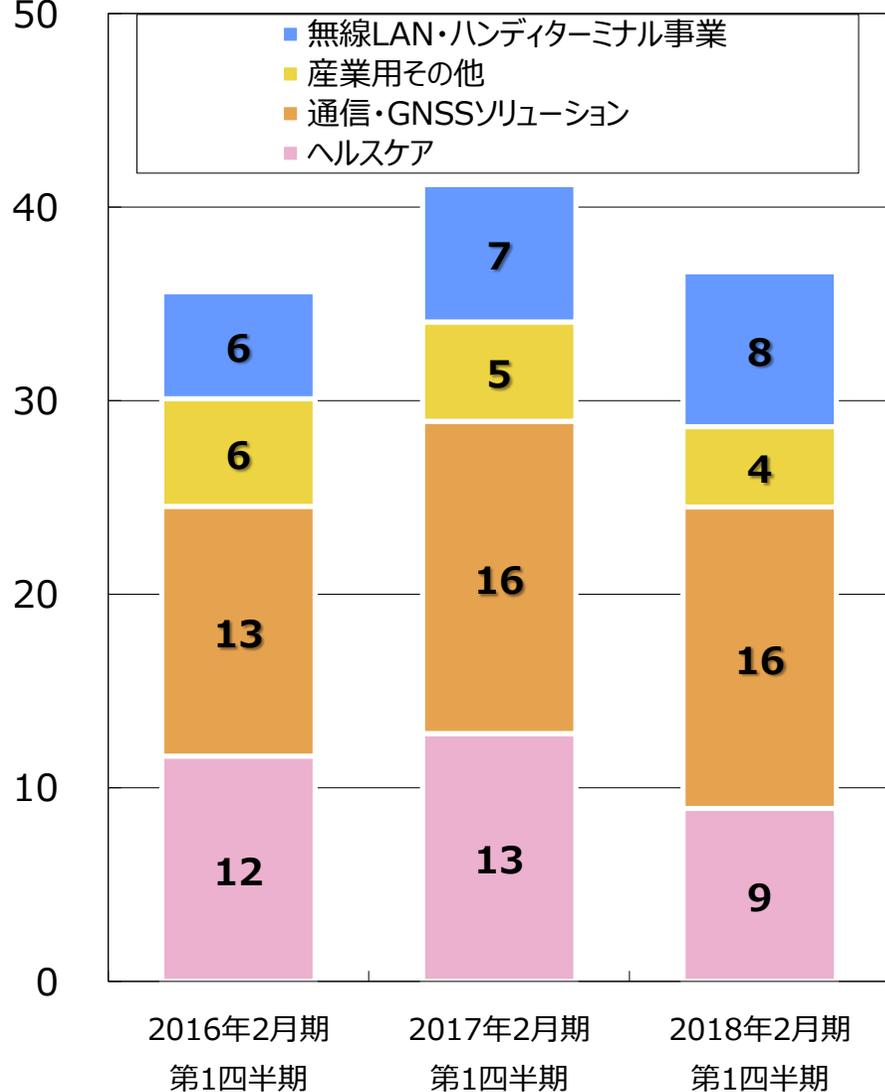
⇒商船市場向け販売減と為替影響で減収減益

- ◆日本：売上高 47億円（▲3.2%）
 - 新商品効果で漁業向けと小型商品（プレジャーボート向け）が増収、商船向けは市場環境悪化の影響で減収
- ◆北米：売上高 19億円（+3.8%）
 - 漁業向けが増収に転じるも、小型商品は依然低迷
- ◆欧州：売上高 41億円（▲6.6%）
 - 商船向けが増収の一方、漁業向けは減収拡大
- ◆アジア：売上高 39億円（▲5.1%）
 - 漁業向けは堅調だが、商船向けで減収拡大

産業用事業、無線LAN・アクセスポイント事業

(億円)

連結売上高 (累計・製品群別)



産業用事業：減収減益

売上高 28億円 (前年同期比 ▲15.9%)

セグメント利益 1.4億円 (▲1.7億円)

⇒ETC車載器は堅調も、ヘルスケア事業の減収響く

◆ヘルスケア事業：売上高 8.9億円 (▲30.2%)

▶ 生化学自動分析装置が大型を中心に減収拡大

◆通信・GNSSソリューション事業：

売上高 16億円 (▲3.4%)

▶ ETC車載器以外が低調で減収に転じる

無線LAN・ハンディターミナル事業：増収増益

売上高 7.9億円 (前年同期比 +12.7%)

セグメント利益 1.2億円 (+0.8億円)

⇒無線LANアクセスポイントが引き続き好調

フルノ・パナマの事業活動を開始、船舶運航量が増加するパナマでの販売・アフターサービス体制を強化

- ◆ フルノUSA (FURUNO U.S.A., INC.) は、パナマ共和国に設立した フルノ・パナマ (FURUNO PANAMA, S.A.) の事業活動を開始しました。同社は、2016年に拡張工事が完了したパナマ運河を運航する船舶の大型化と隻数の大幅な増加を見据えて、特に商船市場向け商品の販売・アフターサービスを充実する目的で設立しました。



フルノシステムズ、「防災Wi-Fiソリューション」の販売を開始

- ◆ 当社グループの 株式会社フルノシステムズ は、災害発生時に一括してWi-Fi環境を切替えることができる「防災Wi-Fiソリューション」の販売を開始します。
- ◆ 平時には高いセキュリティが必要なWi-Fi環境ですが、災害発生時は避難者がだれでもアクセスできるようセキュリティを解除したフリーWi-Fiの整備が求められています。この「防災Wi-Fiソリューション」では、Wi-Fi環境の切替えを専門知識がなくても操作できる「Wi-Fiモードセクター」をご用意することにより解決しました。
- ◆ このソリューションの詳細は、下記ニュースリリースをご参照願います。



ウェブサイト⇒ <http://www.furunosystems.co.jp/pressrelease/detail/id=791>

補足. フルノグループの事業概要

古野電気は1948年に世界で初めて魚群探知機の実用化に成功して以来、船用電子機器分野において、その独自の超音波技術と電子技術をもとに数々の世界初・日本初の商品を提供し続けてきました。そして今日、世界80カ国以上に販売拠点を有し、世界規模の船用電子機器総合メーカーとして確固たる地位とブランドを築いてきました。

2017年2月28日現在



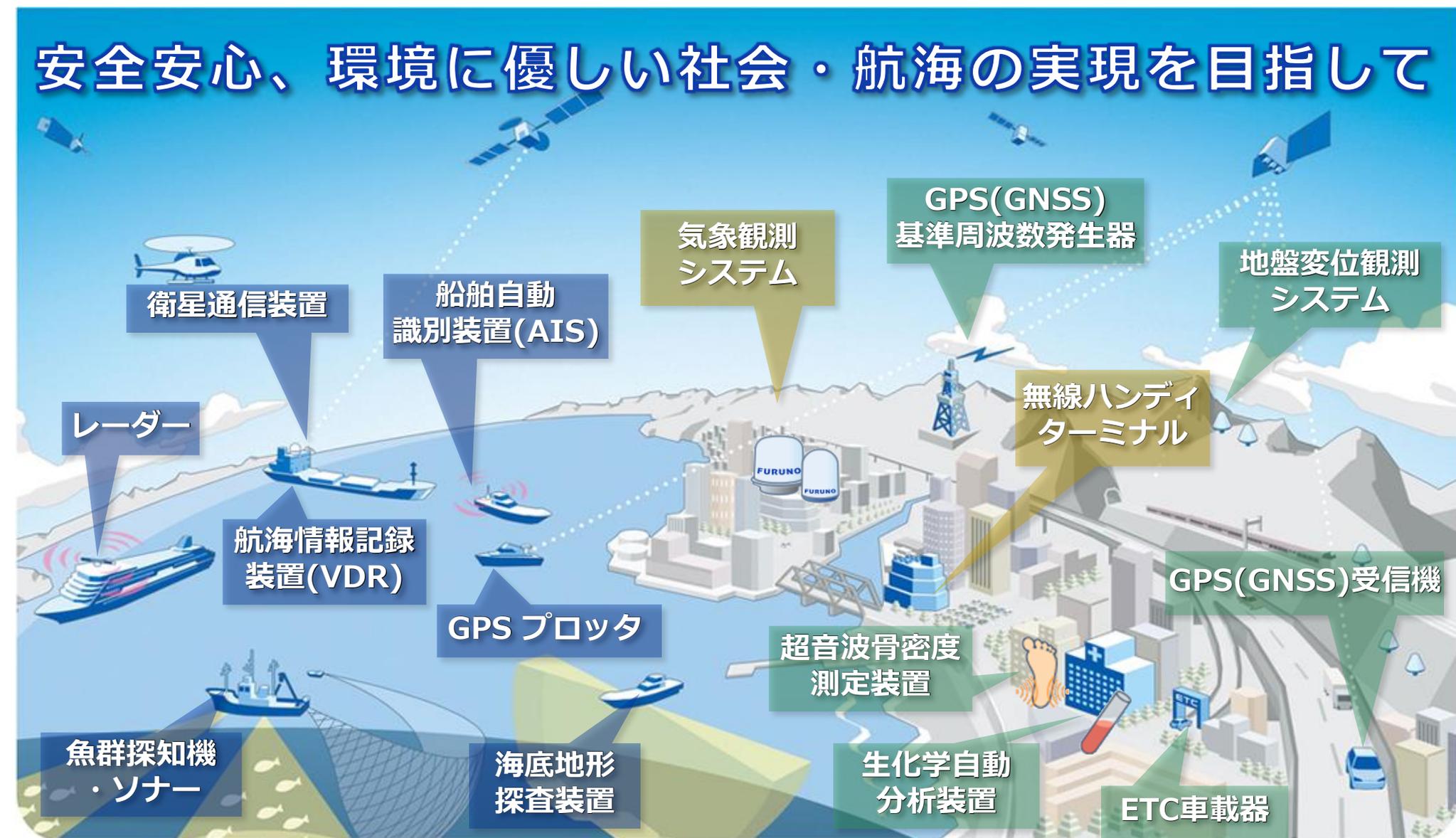
社名	古野電気株式会社
本社所在地	兵庫県西宮市
設立	1951年（昭和26年）
事業内容	船用電子機器および産業用電子機器などの製造・販売
資本金	7,534 百万円
代表者	古野 幸男
上場取引所	東京証券取引所市場第一部 (証券コード：6814)

I R 情報サイト⇒ <http://www.furuno.co.jp/ir/>

製品情報サイト⇒ <http://www.furuno.com/>

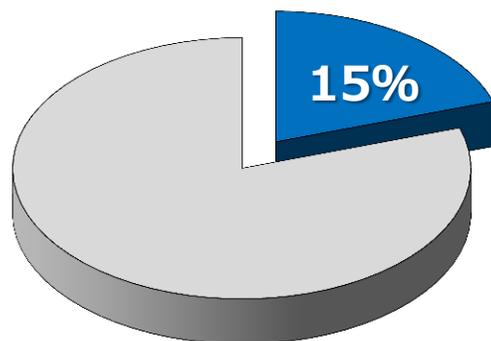
企業ブランドサイト⇒ <http://www.furuno.com/special/jp/corporatemovie/>

安全安心、環境に優しい社会・航海の実現を目指して



市場規模は、2016年の各社売上データに基づく当社推定による試算値

商船向け



市場規模 1,700億円

漁業向け



市場規模 500億円

総合船用電子機器メーカーとして、世界シェアトップ

(世界市場 3,900億円のうち、シェア16%占める)